



令和 2 年 12 月イルミネーション
高松小学校 3 年生「地域を明るくしよう」プロジェクト

謹賀新年

旧年のご厚情に感謝申し上げます
疫病退散と皆様のご多幸を心よりお
祈り申し上げます

今、「SDGs(エスディーズ)」
持続可能な開発目標が広がっています。
す。

SDGs は、国連加盟 193 国が、
貧困・飢餓・福祉・教育・産業・不平等・
環境・平和等の課題解決のため 20
30 年までに 17 の達成目標を定め、
各国政府機関、企業、民間団体
などが一丸となり「誰一人取り残さ
ない社会の実現」を目指しています。
感染症による偏見や差別が社会問
題になっています。日常生活の悲し
みや喜びは一人一人と繋がり、巡り
巡って私や大切な人に関わっていま
す。「豊かだから施すのではなく、
施すから豊かになれるのです。」今
こそ菩薩の行を実践する時です。
温かい心掛けを意識し、相手を思
いやりのある言葉や行為で共に安心
出来る社会を実現したいです。

住職 清涼晃輝 合掌

令和三年 年回表

一周忌	令和二年
三回忌	令和元年
七回忌	平成三十一年
十三回忌	平成二十七年
十七回忌	平成二十一年
二十三回忌	平成十七年
二十五回忌	平成十一年
二十七回忌	平成九年
三十三回忌	平成七年
	平成元年
三十七回忌	昭和六十四年
四十三回忌	昭和六十年
四十七回忌	昭和五十四年
五十回忌	昭和五十年
百回忌	昭和四十七年
	大正十一年

今があるのは

ご先祖様のお陰



少林寺イルミネーション

検索

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

少林寺は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています



曹洞宗とSDGs

曹洞宗では1991年以来「人権・平和・環境」のスローガンのもと、様々な取り組みがなされてきました。これらは貧困や差別、環境や平和の問題を包括的に理解し、連携して取り組もうというSDGsの目標と理念を同じくするものです。また「誰一人取り残さない社会の実現」は、信仰に生きる私たちにあって、生きる意味や信仰の実践に深くつながる重要なテーマであるといえます。

曹洞宗の教えには、坐禅の実践に限らず、食べ物や水などを仏の姿そのものとして尊び、無駄にせず大切に丁寧に頂くという修行生活の実践があります。また困難を抱え生きている人々の苦しみを、少しでも和らげることが出来るよう、願い行動するという菩薩行の実践があります。

これらは社会全体や相手のための行いであると同時に、自分自身を仏として成長させる大切な修行でもあります。「人はどう生きるべきか」という重要な問

いの答えが、SDGsへの取り組みを通じて、禅の生き方の実践として実現されるのです。曹洞宗におけるSDGsの取り組みは、単に社会貢献活動としてだけではなく、禅の信仰実践として位置づけられるものなのです。

曹洞宗が何を大切に護り伝えてきたのか、また今この時代に、世界へ、未来へ曹洞禅を伝え広めるために、何を共に実践すべきなのか。これまで取り組んできた、あらゆる差別の根絶、平和な社会の実現、地球環境への配慮、被災地支援や自死問題への対応などへの取り組みを引き続き進めるとともに、世界・未来を広く視野に入れた形で「誰一人として取り残されることのない世界」の実現に向けて、教団本部、寺院、僧侶、檀信徒はもちろんの事、地域や社会の中で取り組みを実践する多くの方々との連携を模索しながら、教団全体でSDGsへの取り組みを力強く進めていきます。



< 出典 曹洞宗公式サイト曹洞禅ネット >
<https://www.sotozen-net.or.jp/>

仏の智慧に学ぶ

ひとの生をうくるはかたく

やがて死すべきものの

いま生命あるはありがたし

正法を耳にするはかたく

諸仏の世に出づるも

ありがたし

(法句経)

△現代語訳▽

人として生を受けることは得難いこと。
生まれ、やがて死を迎える無常の命が、
今、生きていることは有り難いこと。
正しい教えを聞くことは得難いこと。
世の仏に出会うことも得難いこと。
それらは全て有り難いことである。

ある日、私は余命宣告を受けた。病氣や死ぬことが怖くなった。そんな絶望の淵、家族がいた。仕事を辞めて家族との時間が出来た。今までともに話をしてこなかった私と家族はゆっくり話しをした。何度も話をした。気付いたら、たわいも無いことで笑っていた。その時、ようやく本当の家族になれた気がした。

今、心から感謝したい。家族に、生んでくれた両親に、ご先祖様へ、先生や看護師さん、友人、お世話になった世の中の方々へ、心から有り難う。と言いたい。こうしてベッドに寝ていても聞こえてくる小鳥や風や木々の音。花の香り。全てが有り難く、立派に感じる。生きているのだなど。生かされているのだと。死を宣告されて気付かされた。命の有り難いこと。時間の大切なこと。ただ一緒にいてくれること。いつもありがたう。

(六十代 男性のお話し)

「有り難い」II「ありがたう」

幸せだから、感謝出来るのではなく、感謝出来るから幸せなのだ。有り難いことを感じた時、感謝し幸せを感じるのだろう。有り難い今をいきたい。

澤ちやんの仏教

仏事Q&A



なぜ、曹洞宗は本山が二つ？

今から約八百年前の鎌倉時代です。

大本山永平寺（福井県）を開山された道元禅師（どうげんぜんじ）は、お釈迦様の教えを正しく受け継ぎ、正伝の仏法を中国から日本に伝え、高祖承陽大師（こうそじょうようだいし）と尊称されます。

大本山總持寺（神奈川県）を開山された瑩山禅師（けいざんぜんじ）は、弟子の育成と布教教化の功績が大きく教団の礎を築き全国に広め、太祖常済大師（たそじょうさいだいし）と尊称されます。

道元禅師がいなければ曹洞宗は存在せず、瑩山禅師がいなければ曹洞宗の広まりはなく、どちらもかかせない両親のような大きな存在なことから、両祖として仰ぎ、両大本山として曹洞宗寺院の根本であり、信仰の源として、曹洞宗には大本山が二つあるのです。

なむなむのんのんさま

「子は宝」うちのお宝を紹介

十月十三日、喬松小学校（全校五十一名）一・二年生の十名が「お寺とはどんな所なのか?」「お坊さんのお仕事は?」地域体験学習に来てくれました。

①あいさつ ②礼拝 ③読経 ④坐禅 ⑤お話し ⑥質問 ⑦お寺探検
一時間程お行儀よく一緒に学びました。



津山市立喬松小学校

<https://www.schoolweb.ne.jp/tsuyama/kyosyo-e/>

Q お寺ができて、何年くらい経ちますか?

A 約五百年前に開かれました。

Q お寺では、どんな仕事をしているのですか?

A みんなを幸せにする仕事です。相談。助けること。心を繋げることです。

Q お寺の仕事は何人でしているのですか?

A 四人が中心です。それ以外にも二百人くらいの方がお掃除などを手伝ってくれます。学校にPTAがあるように、お寺も助けてくれる人たちが一緒にお世話をしてくれます。

Q お寺の仕事で大変なことは何ですか?

A 地域で人が減っていくことが大変です。皆のお寺で、人と人が繋がり、五百年受け継がれてきた地域のお寺です。人がいるからお寺は必要とされ、一緒にまもっていくことが出来ます。人が減っていく事は大変なことです。

Q 一年のうちで一番忙しいのはいつですか?

A 八月のお盆です。

Q お寺には一年でどれくらいの人々が来ますか?

A 約千二百人です。
毎日のように来られる人。月に一〜二回の人。年に三〜四回の人。年に一回の人。回数で言えば、二千〜三千回（人）くらいが訪れていると思います。

Q お寺には、部屋がいくつありますか?

A 二十四部屋です。

Q 阿吽（あうん）の像（山門の仁王像）は、何のためにあるのですか?

A 犬の阿吽像も同じ役目をしているのですか?

A 魔除けです。悪い悪魔から払い護るためです。
お寺の仁王像と神社の狛犬は、同じ役目ですね。

Q なぜ、「龍（りゅう）」が、いっぱいいるのですか？

A 一つ目に、鯉が川から滝を登って龍になったという伝説があります。お坊さんも龍が一生懸命に滝を登ったように、修行すれば立派な人になれるという教えて、龍を見習うためです。二つ目に、龍は川にいたため、火事にならないように魔除けです。また火事になってもすぐ消してくれるように願い龍がたくさんいるのです。

Q 仏様は何人いるのですか？どの部屋にもいるのですか？

A とても偉い仏様は三人です。その仏様を支えてくれる仏様は五十人くらい。さらに、みなさんのご先祖様もいければ、数え切れないほどたくさんおられます。九部屋と外にもおられます。

Q なぜ坐禅を組むのですか？

A 坐禅は安らかな気持ちになります。身体と呼吸と心を調えると心が落ちつきます。何も考えないです。

Q なぜ、お経（お坊さんがいつている言葉）をよむのですか？

A みんなを幸せにするためです。お経は仏様の言葉です。お経は魔法の言葉です。悪いこと善いことがわかる教科書です。ありがとうの心がわき、不思議と心がやすらぐのです。

この体験をまとめ「学習発表会」で発表。一年生の感想です。

○ 私は石段を「グリコ」と言いながら、登って行きました。お寺には大きい鐘や太鼓がありました。金魚が可愛かったです。

○ お寺の中は広かったです。私はお経を一回読んだことがあるので知っていたけど、お坊さんに追いつけませんでした。みんなでお寺に行って楽しかったです。

○ 石段を登って行くと玄関の所に阿吽像がいました。大きくてびっくりしました。奥に行くと仏様の足がありました。

お寺のものは大きいなと思いました。

○ ぼくはお寺で足を組んで拝みました。根本先生に「じつとして出来たね。上手。」と言われて嬉しかったです。

○ 修行で合掌を習いました。坐禅は右足を左に、左足を右に置いて、姿勢をよくしました。お坊さんは足が痺れないのかなと思いました。

○ 座布団に坐って坐禅を組みました。足を組んだら、手をお皿にして、右のお父さん指と左のお父さん指を赤ちゃんのホッペをさわるぐらい優しく合わせました。難しかったです。

皆さん、ありがとうございました。

「お寺」や「お坊さん」は、「自分と向き合い今を大切に」することで、「みんなの心の支え」になるために、お寺で、お勤め（お仕事）をしています。お寺は地域のためにあります。いつでも相談に来て下さい。いつでも遊びに来て下さい。いつでも待っています。

盂蘭盆大施食会 総供養会

八月十八日、盂蘭盆大施食会と総供養会（春彼岸から延期）を開催。コロナウィルス対策で、堂内には初盆遺族の希望者・総代・寺院の計二十一名。また事前参拝と当日堂外から百名以上のご焼香と御供を頂きました。例年の形態とは違えども、亡き方々へのご供養をさせて頂くことが出来ました。



お月見坐禅会

お月見坐禅会を「中秋の名月」旧暦八月十五日（十月一日）と「後の名月」旧暦九月十三日（十月二十九日）に、コロナウィルス対策で住職だけで開催。と思っていましたら両日とも一名来て下さいました。お天気に恵まれ、綺麗なお月様に照らされ、しばらく静かに坐禅をして、ゆっくりお話しを致しました。

「両箇の月（りようこのつき）」というお話があります。瑩山禅師が「月が二つあることを知っているか」と、峨山禅師に尋ねます。その答えをみつけるため、峨山禅師は修行に精進され、ついに瑩山禅師が指を鳴らす音を聞いた瞬間、その真意を悟られました。

一つは天に輝く月。もう一つは自らが宿す月です。月は、常にその光を私たちにありのまま照らしてくれます。その光を頂く私たちは、自分の都合でみて感じていないだろうか。心のあり方により月のとらえ方が違ってくる。色眼鏡を外し、ありのままの大切さに大悟されました。

護持会

○清掃奉仕活動

七月十九日

役員二十五名

十二月二十日

役員二十六名

○少林寺霊苑の北側（墓地奥）の水路整備・道路と駐車場舗装・フェンス設置など墓地の整備が完了致しました。

○伸和石材様より霊苑に東屋二棟を寄進頂きました。どなた様も休憩などご自由にご利用下さい。



完成前



完成後

婦人会

○清掃奉仕活動

七月十九日

坪井下地区

八月十七日

中北下地区

十二月二十日

坪井上地区

特別寄付

○北部塗装 様

庫裡屋根の塗装補修

(三日間奉仕作業)

○大島 芳郎 様

金一万円

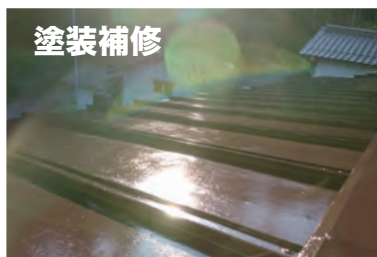
○楽方 真一 様

版画 岩垣正道

小説 小泉八雲

○伸和石材 様

東屋(墓地)二棟



お話し聞きます

悩んでいる方、落ち込んでいる方、寂しさを感じている方、つらい方、私で宜しければ、お話し聞かせて頂けませんか。また、人生相談、仏事相談もご遠慮なく。



☎ 0868-57-2303
☎ 080-6351-9686
✉ info@shorinzenji.com

訃報

愛犬「禅(ぜん)」

令和二年十月七日没 満六才

生前、何かと氣にかけて、可愛がって頂きました皆様、大変お世話になり、ありがとうございました。

お知らせ

本紙をもって賀状と致します
また服喪中の方へご挨拶と致します

住職のつぶやき

▼息子が帰宅すると、犬の禅が動かない！息をしていない…。まだ身体が温かい。かかりつけ医へ直行。「残念ですが…」朝も散歩に行きご飯を食べて元気だったのに…。突然死でした。楽しかった日々とありふれた日常の大切さ。おとなしく、人懐こい犬でした。亡くなる時も静かに逝きました。まるで仏様のような犬でした。「ぜん」ありがとうございました。

▼丑年です。「丑に引かれて善光寺参り」他人の思いがけない誘いで、偶然よい方へ導かれる例え。ひょんなことから、よい縁が巡ってくることもある。時には流れに、他人に任せることもよいかもしれない。丑だけにモーのんびりと…。▼鬼は外。福は内。今年の節分は二月三日ではない。今年の立春(太陽黄経31度)は二月三日で、節分は二月二日。三日でない節分は昭和五十九年以来の三十七年ぶり。二日になるのは明治三十年来一二四年ぶりという。知らなかったのが勉強になった。何でも前向きに、よい年になりますように。立春大吉。

行事予定

覚禅会 毎月第2土曜日 9:00 坐禅・行茶 10:00 写経

<1月～6月予定>

1月9日 2月13日 3月13日 4月10日 5月8日 6月12日

- ・参加費無料。坐禅と写経の二部制で一方のみ参加も可能。
- ・足の不自由な方は、椅子に座り足を組まず出来ます。
- ・写経は椅子と机に道具があります。使い慣れた道具があれば持参下さい。
- ・檀家、年齢性別は問いません。どなた様もお気軽にお越し下さい。
- ・個別の日程は要相談。個人・団体など出張で坐禅会・写経会を致します。
- ・急な日程変更もありますので事前にご確認頂ければ幸いです。

修正会

元日～3日（随時受付）

厄払いなど新年のご祈祷します



婦人会清掃活動

3月14日（日）9時 中北上地区

総供養会

3月20日（土）10時

護持会総会（役員改選）

4月下旬

婦人会総会（役員改選）

4月下旬

御詠歌 講員募集 毎月2回

1回 2時間（休憩有）1,500円

講師 源福寺住職 小谷典尚 先生

曹洞宗 澤龍山 少林寺

〒709-4606 岡山県津山市中北上 1150

●電話 0868-57-2303 ●住職電話 080-6351-9686

●メール info@shorinzenji.com

●ホームページ <http://www.shorinzenji.com>

●曹洞宗澤龍山少林寺フェイスブック <https://www.facebook.com/shorinzenji>

●晃輝和尚のブログ「覚禅堂」 <http://ameblo.jp/seiryō-koki/>



フェイスブック



ホームページ



ブログ